

令和5年2月定例会会議録

(令和5年2月20日)

八代市教育委員会

八代市教育委員会 2 月定例会会議録

- 【開催日】 令和5年2月20日（月）
- 【場所】 八代市役所本庁4階 403会議室
- 【出席者】 北岡 博 教育長
渡邊 裕一 教育委員
奥村 留美子 教育委員
早田 蛍 教育委員
澤村 互寛 教育委員
- 【出席職員】 橋口 幸雄 教育部総括審議員兼次長
松川 由美 教育部次長
田中 智樹 教育部理事兼教育政策課長
田北 佳一郎 学校教育課長
稲本 健一 教育施設課長
高崎 博文 生涯学習課長
櫻井 幸枝 教育サポートセンター所長
松村 哲治 教育部理事兼博物館未来の森ミュージアム副館長
長船 征洋 教育政策課長補佐
松本 豊 教育政策課長補佐兼学校管理係長
五十嵐 誠 教育施設課長補佐兼建築係長
米田 明弘 教育施設課設備係長
- 【事務局】 萩本 誠子 教育政策課教育政策係長
浦本 美代子 教育政策課参事

（審議事項）

<議案案件>

- 八市教委議第3号 八代市スクールバス運行管理要綱及び八代市立小・中学校遠距離通学費補助事業実施要綱の一部改正について
- 八市教委議第4号 熊本県八代市立学校管理規則の一部改正について

<報告案件>

- ① 報告第4号 学校プールの再編に向けた取組みについて
- ② 報告第5号 令和4年度熊本県学力・学習状況調査及び八代市学力・学習状況調査の結果について

1. 開会

（午後3時00分 開会）

2. 教育長報告 前回の会議から今回までに参加した行事や事業、委任された事項などの中で特に重要と思われるものについて報告

3. 議題

北岡教育長 「報告第5号 令和4年度熊本県学力・学習状況調査及び八代市学力・学習状況調査の結果について」は、適切な審議環境を確保する必要があるため、秘密会にすることを提案する。

教育委員 全員異議なし

北岡教育長 「令和4年度熊本県学力・学習状況調査及び八代市学力・学習状況調査の結果について」は、八代市教育委員会会議規則第5条に基づき秘密会とする。

本日の議事の進め方について、議案案件である2件、「八市教委議第3号 八代市スクールバス運行管理要綱及び八代市立小・中学校遠距離通学費補助事業実施要綱の一部改正について」及び「八市教委議第4号 熊本県八代市立学校管理規則の一部改正について」を審議し、続いて、報告案件である「報告第4号 学校プールの再編に向けた取組みについて」を協議する。

その後、議事を一旦中断し、各課かい及び事務局からの連絡事項に移り、最後に、「報告第5号 令和4年度熊本県学力・学習状況調査及び八代市学力・学習状況調査の結果について」の協議を行う。

〈八市教委議第3号〉 八代市スクールバス運行管理要綱及び八代市立小・中学校遠距離通学費補助事業実施要綱の一部改正について

田中教育部理事兼教育政策課長 令和2年7月豪雨の影響でJRや路線バス利用、自転車通学が困難となっている坂本中学校の遠距離通学生徒について、八竜小学校のスクールバスを利用して登下校が可能となるよう関係する規定を改正するもの。

質問等なし

【議案第3号 承認】

〈八市教委議第4号〉 熊本県八代市立学校管理規則の一部改正について

田北学校教育課長 熊本県教育委員会において、令和5年4月1日から、市町村立学校に勤務する係長級事務職員である「事務主任」の職名を「事務主査」に変更するとの通知を受け、関係する規定を改正するもの。

質問等なし

【議案第4号 承認】

〈報告第4号〉 学校プールの再編に向けた取組みについて

稲本教育施設課長 令和5年度から学校プール再編に向けた取組みを行いたいと考えている。資料により説明

渡邊教育委員 すでに小・中学校で合同利用をしている地域があると思うが、どのような状況か。また、各関係学校の先生方から、どのような意見が聴取されているか。

稲本教育施設課長 市内の小・中学校で合同利用している学校は、八竜小学校と坂本中学校がある。理由としては、坂本地区では水が出ないところがあるという点である。あと1校は日奈久小・中学校である。日奈久中学校のプールがかなり老朽化していたため、隣接の日奈久小学校のプールを共有化できないかと検討し、共有化したところである。学校に意見を伺ったところ、日奈久中学校については、中学生が小学生に教えることができるなど、学校としては良い意見をいただいている。坂本中学校については、保護者から、他の学校と同じようにできれば中学校にもプールの整備ができないかと要望が上がっているところである。

今回のモデル校3校の意見であるが、金剛小弥次分校については老朽化がかなり進んでおり、補修も難しい状況であるため、本校のプールを合同利用することで、水の管理やプールの清掃などの先生方の負担が軽減されるという意見をいただいている。文政小学校については、徒歩での移動により鏡市営プールを利用することになるが、実際にしてみないと分からないということである。有佐小学校については、移動をすることがネックになるため検証結果が必要である。ただし、使用するプールが屋内プールであるため、水温がある程度一定であり水の管理が不要である、天候に左右されない、インストラクターによる泳力向上が見込まれるという意見をいただいている。

奥村教育委員

今回参考にされた熊本市の小規模校について、児童数などの具体的な規模はどのくらいなのか。

次に、モデル校が3校選んであるが、児童数の規模が同様の学校が他にもあると思うので、今回のモデル事業は将来的に重要になってくると思う。そのなかで、文政小学校については移動に往復20分かかり、小学校の教育課程の1時間は45分間であるため、実働は25分しかない。では、着替えはいつするのか。着替えの時間も含めて45分と理解しているため、この児童については、水泳の時間は25分しか確保できないのだろうか。それとも、他の教育課程を組まれるのだろうか。

また、指導面のデメリットで挙げてある、連続した授業時間による体力的負担とは、時間割数が増えるということなのか。学習指導要領等では小学校児童に適切な時間として1時間を45分と定めてあるため、これらとの関連はどうだろうか。

最後に、検証のポイントの行政側から、費用対効果が挙げてあり、費用対効果という言葉が胸に刺さる。公立学校や行政は費用対効果だけでは測れないこともあると思うので、行政面から費用対効果だけ記載されているのが寂しく思う。教育委員会は学校を所管する課であるため、教育委員会として一般的に配慮できない事柄について、学校の実状から致し方ないという部分をどれだけ組み入れられるかよろしくお願ひしたい。

1人当たりの水泳の授業数が10時間ということであるが、以前はできるだけ水泳の授業をしようと、最低でも20時間あった。雷が鳴らない限り授業をしており、2学期も2週間程水泳の時間があった。1人10時間であれば、水泳指導は大変になっているのと思う。今回のモデル事業が子供たちにとって、先生方の指導体制にとってより良いものとなりますように教育施設課の知恵をよろしくお願ひしたい。

稲本教育施設課長

熊本市の小規模校については、児童数が472人以下の学校については民間プール利用検討の対象と聞いている。費用対効果については、建設を更新するのか改修するのかを検討するなかで費用対効果という言葉を使用した。

今回モデル校3校を選ぶにあたり、民間事業者と話す中で、移動が一番の問題点であった。民間事業者のほとんどは29人乗りのバスと10人乗りのワンボックスカーを所有している。有佐小学校については、2台使って移動することになる。民間プール利用は、民間事業者の所有する車で移動できる人数の範囲内でないとなしと難しいと考えている。そうすると、1学年35人

くらいの学校が対象になるのではないかと思われる。1学年2クラスある学校は、移動を考えると民間プール利用は難しいのではないかと考えるが検証したい。

授業時数について、3校のモデル事業とも2時限2コマを使うこととしている。有佐小学校については、1時限は着替えや移動に費やすことになるため、1時限が水泳の授業となることを見込んでいる。文政小学校については、移動時間を考慮すると水泳の時間が長くなる。このことから、指導面のデメリットとして連続した授業時間による体力的負担を挙げたところである。

行政側からの検証のポイントについて、費用対効果という言葉だけでは受け留め側としてはよろしくないので、安全面などその他の面についても追加するなど、内部で検討したいと思う。

奥村教育委員

よろしくお願ひしたい。

渡邊教育委員

水泳の授業で一番大事なのは、泳力向上ではなく安全に活動できるかであると思う。ほとんどの学校で複数の学級あるいは複数の学年で同時にプールを使用し、大人が複数いて緊急対応できるようにしていると思う。行く人数が限られてくると、担任一人になることがあるのではないかと心配である。AEDなどの備え付けがなければ、学校から持参する必要もあるだろうし、何か起きた場合の連絡体制をしっかりと構築しておかなければならないと思う。モデル事業の3校は夏休みのプール解放はなかったのか確認したい。このモデル事業は必要であると考え

稲本教育施設課長

ほとんどの学校が1学期で水泳の授業が終わり、プールの夏休みの解放は行っていないと把握している。安全面については十分考慮したい。AEDについては設置されていることを確認しているが、安全対策については、生徒が行く前に事業者と十分に協議をしたいと考える。有佐小学校は特に移動が長くなるため、先生方から1台はバスではなく私用車で移動しようかという話があった。これについても学校と協議をしながら安全面については注意したい。

奥村教育委員

どれだけ想定していても、事故が起きると想定外だったとは言えないのが昨今のいろいろな大きな事故で感じることである。学校の先生方にアンケート調査や意向調査を十分していた

だけるといふことであるが、担任の先生方が子供の安全面については一番経験されているので、どんな小さな意見でも拾い上げていただきたいと思います。

(議事一時中断)

4. 連絡事項
- | | |
|------------|---------------------------------|
| 学校教育課 | 卒業式、卒園式について |
| 生涯学習課 | 図書館マルシェ (2/26) |
| 教育サポートセンター | 第2回教育論文等審査会 (2/21) |
| | くま川教室の様子 |
| | 不登校に対する保護者、学校の関わりについて |
| 博物館 | 冬季特別展覧会 (2/3～3/12) |
| 事務局 | 3月定例会日程確認 (3/27 14:00～) |
| | 臨時会 (2/24 15:00～、2/27 15:00～予定) |

(議事再開)

〈秘密会〉

〈報告第5号〉 令和4年度熊本県学力・学習状況調査及び八代市学力・学習状況調査の結果について

〈秘密会につき、会議内容は省略〉

5. 会議録署名委員の指名 澤村委員・奥村委員

6. 閉会 (午後4時07分 閉会)

令和 年 月 日

署名委員

記録者
